

平成19年度 各会計予算

(単位:千円:%)

会計別	予算額	対前年比
一般会計	13,321,692	△ 3.6
特別会計	11,051,668	
特別会計内訳		
国民健康保険	4,234,167	22.6
地方卸売市場事業	2,676	△ 62.2
老人保健	4,468,188	△ 0.9
介護保険	2,346,637	△ 1.5

企業会計※

水道事業会計	1,190,723	△ 3.6
下水道事業会計	2,142,799	—

※ 企業会計については収益的支出+資本的支出額
 ※ 下水道事業会計は平成19年度より地方公営企業法一部適用

特別会計

〔質疑〕沖の沢郡山線街路工事の進捗状況と完成時期及び総事業費を伺いたい。
 〔答弁〕平成19年度までの進捗状況は事業費ベースで約65%となり、東北本線及び谷津川の上部架設工等を行おうとするものである。
 完成見込みとしては、平成22年度を予定し、全体事業費は、現時点で約44億4千万円となる見通しである。

建設水道所管

〔質疑〕市道白銀通り線側溝改良工事の工事概要について伺いたい。
 〔答弁〕主要地方道白石柴田線と交差する白石市勤労青少年ホーム先から南側190mの区間において、側溝の老朽化により排水機能が低下していることから、2年次にわたり、側溝改良と併せて、住宅等への乗り入れ部分を平坦化し、バリアフリー化を図ろうとするものである。

になる。現在、白石の実施面積は田、畑で2百53ヘクタールとなっている。
 事業は、国の補助事業となるので、市としては事業を実施する地区に対し、事業計画書の作成等の事務的サポートをしていく考えである。
 〔質疑〕仙台・宮城ドステイネーションキャンペーンについて伺いたい。
 〔答弁〕平成20年10月から12月に全国的な大型キャンペーン「仙台・宮城ドステイネーションキャンペーン」が展開され、今年はこれに先立ちプレキャンペーンを実施する。このキャンペーンは昭和53年から始まったもので、今年は

2月から4月まで千葉県が取り組んでいる。
 ポスターやチラシなどが全国のJRの駅に配布され、露出度の高いPRになり経済効果もあり、県内に入ってくる観光客は増えると思われる。2月7日にこのキャンペーンにむけて協議会を立ち上げ、各地域の観光資源の掘り起こしに取り組んでいる。
 また、事業費は19年度、20年度の2カ年で、概ね2億8千万円になり、負担割合は県で35%、仙台市35%、残る30%は白石市はじめ各自自治体及び民間で負担することになって

〔質疑〕市道の取扱い高と利用者数及び、今後の市場の運営の見通しについて伺いたい。
 〔答弁〕昭和54年に開設された最盛期には10億4千万円程度の取扱い高があったが、昨年度は最盛期の三分の一の3億7千万円である。使用料については取扱い高の0.5%を見込んでいる。
 利用者については買い受け人が69名、出荷している農家の方は100名くらいである。
 今後の運営については角田、仙南、白石と三つの市場があり、大河原地方振興事務所とJAを中心に現在統合に向けた話し合いを進めている状況である。

統合の形態は、三つの市場の内、一つだけ残す、あるいは市場は従来どおり三つ残り、経営体を合併するなどさまざまな方向性から協議中である。しかし、市場に出荷している農家の方もいることから、市場をなくすことは不便を強

〔質疑〕市道事業会計において現在余剰金があり、仙南・仙塩広域水道の料金が平成21年頃に改定される見通しであることから、人件費の削減をはじめとした企業努力を行い、現時点での料金改定は行わない。